

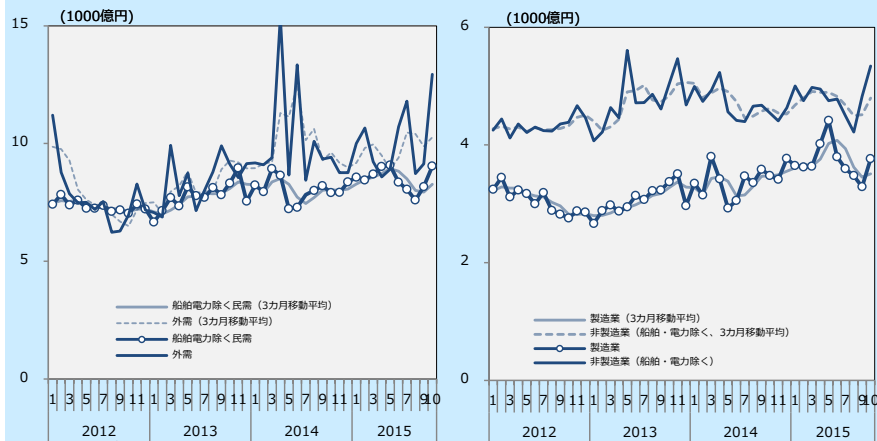
# 日本:機械受注統計 (2015年10月)

## —製造業は5か月ぶりの増加—

# MRI Daily Economic Points

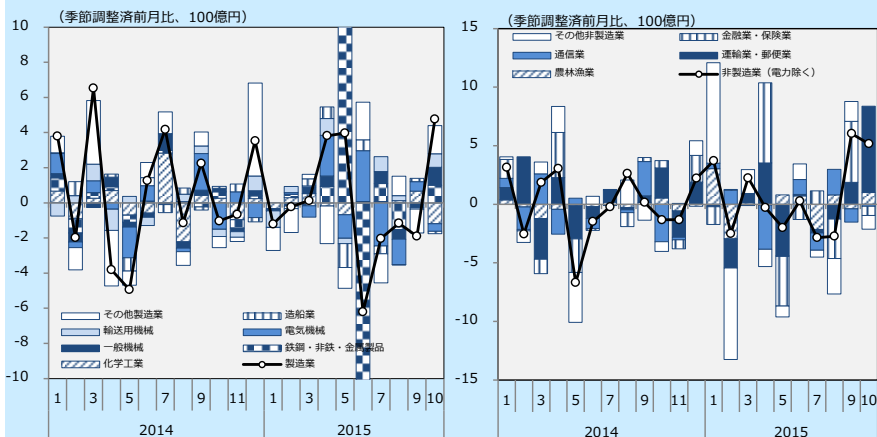
## December 9, 2015

### 機械受注額／製造業、非製造業の機械受注額



注: いずれも季節調整値  
資料: 内閣府「機械受注統計」

### 製造業の機械受注額の寄与度分解／非製造業の機械受注額の寄与度分解



資料: 内閣府「機械受注統計」をもとに三菱総合研究所作成

### 評価ポイント

#### 2015年10月の結果

- 15年10月の機械受注額は、船舶・電力を除く民需が季調済前月比+10.7% (前年同月比+10.3%)と、2か月連続の増加となった。外需は同+41.6% (同+37.5%)と2か月連続で増加した。
- 10月の機械受注額を業種別にみると、製造業は季調済前月比+14.5%、非製造業(船舶・電力除く)は同+10.7%となった。
- 製造業は、6月以降受注額が減少していたが、今月は5か月ぶりに増加。内訳をみると、一般機械(季調済前月比+13.9%、前月同▲3.2%)や、輸送用機械※(同+12.8%、前月同▲1.5%)が増加している。一方、電気機械は同▲7.5%(前月同+10.5%)と減少。  
※輸送用機械は、「自動車・同付属製品」と「その他輸送用機械」の合計
- 非製造業の受注額は、2か月連続で増加した。運輸・郵便業で大型案件があったとみられ、季調済前月比+98.6% (前月同+33.9%)と大幅に増加した。一方、その他の業種では、金融保険業は前月(同+104.5%)の反動減から同▲7.7%、通信業は同▲3.6%(前月同▲19.8%)減少した。

#### 基調判断と今後の流れ

- 今月の機械受注は、運輸・郵便業など大型案件の影響もあるが、製造業の受注額が5か月ぶりに増加したことはプラス材料であり、機械受注は一頃と比べて明るい動きが出てきている。
- 10-12月期の機械受注の見通しは、船舶・電力を除く民需で季調済前期比+2.9%と2四半期ぶりの増加が予測されているが、10月の機械受注が想定を上回る増加となったことから、上振れる可能性が出てきた。しかしながら、前期の大幅減少(前期比▲10.0%)を取り戻すほどの増加にはならないだろう。
- 先行きは、中国経済減速などが重石となるものの、非製造業を中心に設備不足感が強く、機械受注は緩やかに持ち直していくと予想する。ただし、新興国経済減速の不安から、企業が更に設備投資計画の実行を遅らせる(あるいは見送る)可能性には注意が必要だ。